

2006年度海外研修旅行（イタリア）の報告

井藤賀久岳・中川 実・太田悟実
杉谷秀三・水野敏明

1. はじめに

本学では、国際的視野を広め、自己の育成を深める目的で、海外研修旅行を実施している。2000年2月にイタリアの国立フェラーリ工業専門学校との提携後、毎年夏休み中にイタリア研修旅行を行っており、今回で7回目となる。今回は従来の研修旅行と異なり、本学設立40年記念事業「レバンテプロジェクト」を応援することも含め旅程が計画された。旅程は「レバンテプロジェクト」のスタート地であるローマ、フィレンツェ、ボローニャ、マラネロ及びミラノ等の都市を訪れた。また、研修先として、ドゥカティ社及びフェラーリ本社工場等の見学も行った。

2. 研修旅程

今回のイタリア研修旅行の実施旅程は表1の通りである。ローマを出発しミラノまで行くコースであった。これは本学設立40年記念事業「レバンテプロジェクト」に合わせたもので、旅程の途中で「レバンテプロジェクト」の現地イベント及びゴールでの応援をするためであった。当初は6泊8日で予定されていたが、「レバンテプロジェクト」のパーティー（9/9）に参加するた

表1 イタリア研修旅行実施旅程

	月 日	都 市 名	時間	ス ケ ジ ュ ー ル	食事
①	9月4日(月)	セントレア発 フランクフルト着 フランクフルト発 ローマ着	10:25 15:40 16:30 18:15	セントレア空港集合(8:25)、セントレアからルフトハンザドイツ航空にて出発(10:30)～フランクフルト着(15:30)フランクフルト発(16:30)～ローマフェミチーノ空港着(18:44)ホテル着(20:10)夕食(20:40～21:30)【ローマ・Albani泊】	昼→ 夕○
②	9月5日(火)	ローマ滞在	午前 午後	朝食(6:30～)、集合(7:30)、ホテル出発(7:45)、ローマ市内観光(パチカン市国、サンピエトロ寺院、サンタンジェロ城)(8:15～11:38)、昼食(12:10～13:20)ローマでフリータイム(14:30～)点呼(21:30)【Albani泊】	朝○ 昼○ 夕×
③	9月6日(水)	ローマ発 アッピア街道 アッシジ着 アッシジ発 フィレンツェ着	09:00 09:30 10:30 12:45 午後	朝食(6:30～)、集合(7:45)、ホテル出発(8:11)、アッピア街道着(8:35)、カラカラ浴場とドミネ・クォ・ヴァティス教会を見学。(10:20～10:45)アッシジ着(13:35)、アッシジで昼食(13:45～14:50)、サンフランチェスコ大聖堂、コムーネ広場見学(14:55～16:40)、アッシジ発、フィレンツェへ移動(16:50～19:10)。夕食(19:56～21:10)、ホテルへ移動(21:20～22:00)【フィレンツェ・Sheraton泊】	朝○ 昼○ 夕○

	月 日	都 市 名	時 間	ス ケ ジ ュ ー ル	食 事
④	9月7日(木)	フィレンツェ滞在	午前 午後	朝食(6:45~), 集合(7:00), ホテル出発(7:15), フィレンツェ市内観光(8:30~11:50) 昼食(12:20~13:00) フィレンツェでフリータイム。(13:30~20:40) 点呼(21:30) ホテル着(21:50) 【フィレンツェ・Sheraton泊】	朝○ 昼○ 夕×
⑤	9月8日(金)	フィレンツェ発 ボローニャ着 ボローニャ発 マラネロ着	11:00 午後	朝食(6:45~), 集合(7:00), ホテル出発(7:30), マラネロへ移動(7:40~9:50)。フェラーリ博物館の見学と工場付近を散策します。(10:00~11:00)フェラーリ工場食堂にて昼食(11:45~13:00), ボローニャへ移動(13:10~14:00)。ドカティ社工場・博物館見学(14:10~15:45)。ボローニャの街見学(15:45~16:50) フリータイム(16:50~19:25) 夕食(19:30~21:00) マラネロへ移動(21:15~22:25) ホテルへ移動(22:30) 【マラネロ・Domus泊】	朝○ 昼○ 夕○
⑥	9月9日(土)	マラネロ滞在	10:00 午後	朝食(8:15~), 集合(9:15), ホテル出発(9:30), フェラーリ工場見学(10:00~11:45) ソーラーカー観戦(12:00~13:00) フェラーリ工場食堂で昼食(13:00~13:40) 研修修了式食堂で(13:40~14:10) マラネロでフリータイム(14:10~16:50) フィオラノコースでソーラーカーのゴールを観戦(17:10~18:20)。夜は, ソーラーカーチームのパーティに参加(19:45~22:45)。ホテル着(23:00) 【Domus泊】	朝○ 昼○ 夕○
⑦	9月10日(日)	マラネロ発 ミラノ着	午前 午後	朝食(7:30~), 集合(8:15), ホテル出発(8:30), ミラノへ移動(8:30~11:00)。ミラノで昼食(11:30~12:50) ミラノでフリータイム(12:50~) 希望者はスイスのアウトレットモールへ(13:10~17:30) 点呼(20:45) 【ミラノ・Arcobaleno泊予定】	朝○ 昼○ 夕×
⑧	9月11日(月)	ミラノ発 フランクフルト着 フランクフルト発	11:05 12:30 14:15	朝食(7:00~), 集合(7:35), ホテル出発(7:45), ミラノマルペンサ空港着(7:55~9:00) フランクフルト発11:05~(13:00着・14:15発) 【機中泊】	朝○ 昼+ 夕+
⑨	9月12日(火)	セントレア着	08:35	中部国際空港到着(8:35), 着後解散。	

めに1泊増やし9月4日(月)から12日(火)の7泊9日となった。

3. 参加者募集

研修旅行参加者定員を40名とし, 募集を開始した。募集の経緯は以下の通りである。

- ・ 3月下旬, 1, 2年生の保護者宛に研修旅行の案内を郵送した。
- ・ 4月5日, 入学式終了後, 体育館において研修旅行の説明を行った。説明後, 保護者から研修旅行に対する質問や仮申し込みがあった。
- ・ 4月6日, クラス別ガイダンス(1, 2年生及び専攻科生)において, 研修旅行の参加希望に関するアンケートを実施した。その結果53名(1年生50名, 2年生3名, すでに申し込んだ学生を含む)の参加希望があった。
- ・ 4月10日, 研修旅行参加者募集のポスターを学内に掲示し, 参加申込者の増加を図った。4月13日までの参加申込者は計21名であった。
- ・ 4月17日以降, アンケートにおいて「参加したい」と回答した学生の中で, まだ申し込んでいない学生に説明会の案内を配布した。4月19日までの参加申込者は計31名であった。

- ・ 4月20日、参加希望者説明会を行った。参加者は26名（申し込んでいなかった学生2名を含む）であった。申し込みした学生で説明会を欠席した7名については後日呼び出し、資料の配布を全員に行った。説明会では、研修内容、申込書、パスポート及び費用等について説明を行った。
- ・ 4月27日、28日及び6月5日、6日、7日（いずれも昼休み）、未申込者を対象とした説明会を再度実施したが、6月5日に1名参加があっただけで、他の日は参加者がいなかった。
- ・ 5月8日（申込書提出締め切り日）、19名の申し込みがあった。説明会参加者で未提出の学生に確認を行った結果、最終的に36名の申し込みとなった。
- ・ 5月中旬以降、参加申込者又はその保護者に申込金の納付の案内を送付した。
- ・ 6月16日（第1回参加者説明会及び申込金納付締め切り日）、説明会では、旅程、ホテルの部屋割り、班割り、申込金徴収、保険等についての説明を行った。申込金は33名（後日納付者も含む）から納付があった。残り3名は金銭的な理由でキャンセルの申し出があった。
- ・ 6月30日（パスポートのコピー提出締め切り日）、12名が提出した。残りの学生は随時提出し8月10日には全員（33名）の提出があった。
- ・ 7月21日（分割払い申請書提出締め切り日）、6名の申込があり申請書の提出があった。1名が後日分割払いを希望したため、8月10日に受け付けた。
- ・ 7月26日（第2回参加者説明会）、しおりの配布及び出発集合場所等についての確認を行った。
- ・ 7月31日（旅行代金残金納付締め切り日）、分割払い希望者7名を除く26名全員から納付があった。
- ・ 8月29日、参加予定の学生1名から前期試験の成績不良のためにキャンセルしたいとの申し出があった。最終的な参加者は32名となった。

4. 研修旅行風景

研修旅行1日目（9月4日）、中部国際空港3階国際線出発ロビーに8時25分に集合し、研修旅行の団長が挨拶を行った。ルフトハンザ航空を利用し、中部国際空港（10：30）発フランクフルト（以下現地時間、15：30）着、フランクフルト（16：30）発ローマ（18：44）着であった。フランクフルトでの乗り換えでは時間が短かったが全員無事に入国審査もすませ乗り換えることができた。空港到着後はバスにてホテルに行き夕食をとった。

2日目（9月5日）、7：45にホテルを出発し、バチカン市国、サンピエトロ寺院、サンタンジェロ城等の見学を行った（図1）。初めて海外に来た学生もおり、異国文化を感じることができたようである。昼食後、自由時間となり各自、ローマ市内の観光やショッピングを楽しんでいた（図2）。21：30ホテルにて点呼を行った。若干遅れてくる学生はいたものの全員無事にホテルに戻ることができた。

3日目（9月6日）、8：10からバスでアッピア街道、カラカラ浴場、ドミネ・クォ・ヴァティス教会（図3）を見学した。昼食はアッシジでとった。アッシジは思ったより街全体がまとまっ



図1 バチカン市国



図2 コロッセオ

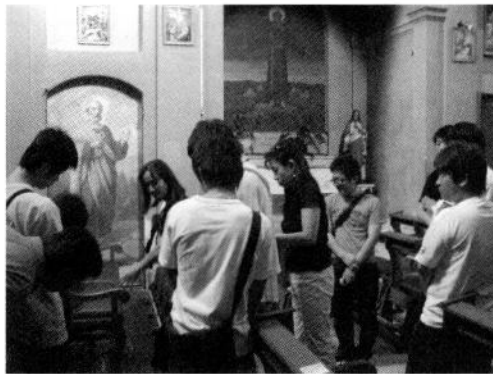


図3 ドミネ・クォ・ヴァティス教会



図4 アッシジ

ており美しい街であったが、大変暑い中勾配の厳し所を歩き少し学生も疲れたようであった(図4)。午後はサンフランチェスコ大聖堂, コムーネ広場を見学後フィレンツェのホテルに移動した。

4日目(9月7日), 7:15と早朝から出発しフィレンツェ市内の観光を行った。ウフィツィ美術館の多くの名画の鑑賞や、ルネッサンス発祥の地としての文化を見学することができた。興味

のない学生もいたが、すばらしい美術品を鑑賞できるいい機会になったと思われる。昼食後、自由時間となった。疲れた数名の学生はホテルに戻ったが、多くの学生は市内の散策を行ったようである。また、シニョーリア広場では「レバンテプロジェクト」のソーラーカー等がイベントを行っており、一部の学生は参加することができた(図5)。21:30にシニョーリア広場で点呼を行いホテルに帰った。



図5 シニョーリア広場

5日目(9月8日), 7:30にホテルを出発後、マラネロに移動しフェラーリ博物館の見学を行った(図6)。ほとんどの学生は展示車などを



図6 フェラーリ博物館

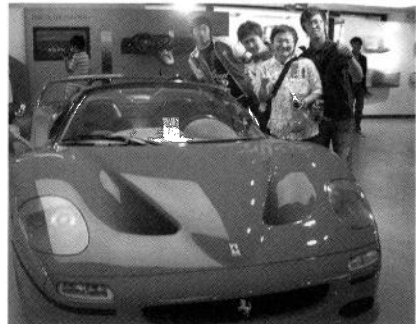


図7 フェラーリ博物館内

興味深く見学し、写真をたくさん撮っていた(図7)。また、フェラーリグッズをたくさん買う学生もあり、大変満足したようである。昼食はフェラーリ工場の食堂でフェラーリの社員たちと食べることができた。午後はトニーオートやザナシーの見学を行った。次の予定もあり十分に時間がとれなかったが、一般の観光客では見ることのできないものが見られた。その後ポロニャに移動しドカティ社の工場及び博物館を見学した(図8)。工場見学では3つの班に別れて見学ができ、説明も通訳を通じて日本語で行ってもらったので、良い勉強になったと思われる。



図8 ドカティ博物館

6日目(9月9日)、9:30に徒歩でフェラーリの工場の見学を行った。土曜日であったので、工場内はほとんど稼働していなかったが、敷地内で時折フェラーリがテスト走行しており、間近で見ることができた。また、日本の自動車メーカーの工場とは異なり、工場内に大きな植物を配するなど労働者に配慮した工夫がされていた。学生も工場での説明を聞きながら細かく見学ができて満足の様であった。しかし、「レバンテプロジェクト」のゴールの時間に間に合わせるため、後半は少し時間がなかったようである。工場見学後、マラネロ市内の「レバンテプロジェクト」ゴール地点に行き、全員プロジェクトのTシャツを着てソーラーカーの出迎えを行った。昼食時、フェラーリ工場の食堂で全員研修修了書をフェラーリ工業専門学校のDanieli Dott Nico校長から授与された(図9)。夕方にはフェラーリのフィオラノサーキットでソーラーカーのデモ走行の見学を行った(図10)。ソーラーカーの走行だけだったので、学生にとっては物足りないようであったが、コース内に入れたのは貴重な経験になった。その後、「レバンテプロジェクト」のパーティーに参加した。ヨーロッパ式のパーティーで学生にとっては初めての経験でどのようにすれ

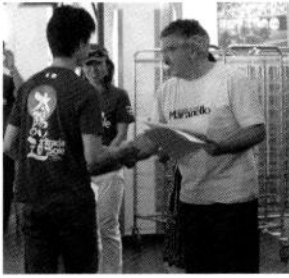


図9 研修修了式



図10 サーキットでのデモ走行見学

ば良いかとまどったようであった。

7日目(9月10日), 8:15からミラノに移動し昼食後は自由時間となった。日曜日であったため, ミラノ市内のほとんどの店は閉店していてショッピングはできないので, 希望者はスイスのアウトレットモール(Fox Town)に行った。数名の学生はミラノに残り, 市内散策を楽しんだようである。

8, 9日目(9月11, 12日), 7:45にバスでミラノマルペンサ空港に行き, ルフトハンザ航空を利用し, ミラノ(11:05)発フランクフルト(13:00)着, フランクフルト(14:15)発中部国際空港(翌日8:35)着であった。全員大きなトラブルもなく無事中部国際空港につくことができた。その後, 各自家路についた。

5. アンケート結果

研修旅行のアンケート結果を表2に示す。研修旅行全体では「とても良かった」, 「良かった」を合わせると96.9%とたいへん高い結果となった。特に自動車に関する研修(フェラーリ博物館, ザナシー等工場, ドカティ工場及びフェラーリ工場の見学)は, 「とても良かった」が50%を超え, 「良かった」を加えるとすべてがほぼ80%以上と満足度が高いことがわかる。一方, 市内観光等は, 学生によりばらつきがあり, 学生により興味の度合いが違いこのような結果になったと考えられる。また, 「レバンテプロジェクト」のデモ走行に伴うフィオラノサーキットの見学については「やや不満」, 「不満」を合わせると40%と超え, 学生にとっては満足がいかなかった結果となった。

6. ま と め

今回の研修旅行は「レバンテプロジェクト」との関連もあり, スケジュールがとてもハードなものとなった。しかし, アンケート結果からもわかるようにほとんどの学生にとってはある程度満足のいくものになったと思われる。特にフェラーリ工場やドカティの工場の雰囲気は日本の企業では味わえないものであり, 学生にとっては今後の貴重な財産になるのではないかと感じた。この研修旅行では, 多少の問題点はありましたが旅程はほぼ順調に進み, 学生にとって異国での貴重な体験ができたと思う。

表2 アンケート結果

		とても良かった		良かった		普通		やや不満		不満	
研修旅行全体		15	46.9%	16	50.0%	1	3.1%	0	0.0%	0	0.0%
ホテル	ローマ	14	43.8%	10	31.3%	6	18.8%	0	0.0%	2	6.3%
	フィレンツェ	14	43.8%	9	28.1%	6	18.8%	2	6.3%	1	3.1%
	マラネロ	5	15.6%	4	12.5%	10	31.3%	6	18.8%	7	21.9%
	ミラノ	7	21.9%	13	40.6%	7	21.9%	4	12.5%	1	3.1%
観光	ローマ市内観光	12	37.5%	10	31.3%	8	25.0%	2	6.3%	0	0.0%
	アッシジ観光	9	28.1%	5	15.6%	14	43.8%	1	3.1%	3	9.4%
	フィレンツェ観光	10	31.3%	10	31.3%	7	21.9%	3	9.4%	2	6.3%
	フェラーリ博物館	21	65.6%	8	25.0%	1	3.1%	2	6.3%	0	0.0%
	フェラーリ社内食堂	8	25.0%	9	28.1%	10	31.3%	3	9.4%	2	6.3%
	ザナシー等工場	17	53.1%	8	25.0%	6	18.8%	1	3.1%	0	0.0%
	ドカティ工場	18	56.3%	7	21.9%	7	21.9%	0	0.0%	0	0.0%
	フェラーリ工場	23	71.9%	7	21.9%	2	6.3%	0	0.0%	0	0.0%
	フィオラノコース	6	18.8%	9	28.1%	7	21.9%	6	18.8%	4	12.5%
	ミラノ市内観光	4	16.7%	6	25.0%	10	41.7%	4	16.7%	0	0.0%
	アウトレットモール	5	17.9%	7	25.0%	12	42.9%	2	7.1%	2	7.1%

最後に、この研修旅行で全員無事に帰国できたのも、現地添乗員の鈴木女史をはじめ、旅程のアドバイス及び研修先の調整をして頂いた本部の蜂須賀先生の協力があったからです。ここに深く感謝の意を表します。